

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 73 号 2018 年春号

<http://nadogaya-biotope.org/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：篠崎 将 Tel/Fax 04-7173-6353

ニホンアカガエル卵塊の観察会

2月17日(土)から3月10日(土)まで4回観察会を行いました。初日は気温8度と肌寒く全部で40個を確認しました。会員13名で多くの参加者となり会員の小川さんが冬眠中のアカガエルの成体を見つけ、皆大喜びでした。最後に篠崎会長から資料にそって詳しい説明がありました。3回目の3月4日は暖かい陽気で一気に増えて110個でした。特に「もち田 No4」が28個と大きく増加です。小屋東側の池にも5個産み付けられていました。

最終日の3月10日は合計128個を確認し過去最高でした。東側看護寮脇の水路は増加

傾向です。今まで観察された卵塊の多くが崩れて孵化が始まりました。今年も状況は良好であり無事に生体となって生き残って欲しいです。

尚、今年のヒキガエル卵塊は3月15日(木)に「もち田3番」と「じゅず玉池」に見られました。(藤平 三郎)



卵塊と孵化中の様子

ヘイケボタルの幼虫放流



幼虫と放流の様子

4月21日(土)の定例活動に先立ち、ヘイケボタル幼虫の放流を行いました。

放流場所はAゾーン柳の木の付近水路で例年100匹を超える数の幼虫を放流していますが、今年も125匹の幼虫を放流することが出来ました。放流は長靴をはいてスタンバイしていた小学生の高橋君にお願いしました。今

年も無事に光ってもらいたいものです。

ところで、毎年手賀沼流域のヘイケボタルの生息地から2~3組の成虫から採卵して幼虫を育てていますが、生息地が少なく生息数も減少しており、採卵のための採取が難しくなっています。また、ビオトープに定着して欲しいと思っていますが、周辺環境はホタルには厳しく、これはビオトープの中だけで解決できる問題ではありません。今後について皆さんと考えていきたいと思ひます。ご意見がありましたら宜しくお願いします。

(松清 智洋 写真は菌田 廣満)

田植えの準備も大変 にぎやかな田植えになりました

4月14日に会員による稲株踏み、21日に元肥（バイオ有機肥料とカリ肥料）散布を行いました。5月4日に畔と田んぼの中の草刈り、板均しで下準備を進め、夕方には藤平さんとレンタカーで藤心ライスセンターから苗を受け取り、準備完了。6日は田植え日和で近所の家族4組、会員と合わせて32名も参加して盛大な田植えになりました。慣れない田んぼで足を取られながらも楽しく作業を進めました。うるち苗は柏産の「コシヒカリ」です。（小笠原 智）



株踏みに挑戦中
「おっとと、危ない」



株踏み後に有機肥料を散布しました



今年は気温が高いので
草の成長が早い



みんなで楽しく田植えに挑戦です



こちらの田んぼでも頑張っています

名戸小田植えもにぎやかでした

幹事・会員7名で9時に集合し、田植えの準備をして待っていると予定通り、9時半に赤・白の運動帽を被った5年生の児童が笹間校長に引率され賑やかに到着しました。山本学年主任他2名の先生、2クラス54名全員の参加でした。

保護者も2～3名参加され、田植えも初体験されました。ビオトープの説明、田植えの説明後、大騒ぎで田んぼに入り、40分程で終了、田植えで汚れた手足、体、衣服を洗うのに時間を要しましたが、自分たちで田植えし

た田んぼを囲んで反省会も行われました。昨年増尾城址公園で経験した田んぼより深く、大変だったが楽しく出来たとの感想。天候にも恵まれて、短い時間の中で、貴重な経験が出来たようで、指導した方々もほっとした一日でした。

小笠原さん、幹事の皆さん、事前準備ありがとうございました。当日参加戴きました、幹事・会員の皆様、ご協力ありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

（久米 正宏 写真は園田 廣満）

ザリガニ釣り場木道が更新され ホタル観察木道も造りました

ザリガニ釣り場前の木道が市の協力で擬木の木道に改修されました。しっかりしていますので散策する方も安心して通れますし、しばらくメンテがかからないのでたすかります。ザリガニ釣りに来たお母さんの荷物置き場と休憩用にベンチを2か所作りました。現在は真ん中に「ハンノキ」も植樹していますので数年後には木陰を作ってくれるでしょう。



更新されたザリガニ釣り場前の木道



荷物置き場兼ベンチも作成しました



水田木道から分岐し水路に沿った木道です



水路側にロープも張りました

「ホタル」の幼虫を放流し、昨年数匹の発光が確認された「ホタル水路」脇に観察用の木道を作成しました。昨年は仮木道で板を敷きこんだだけで危なかったもので、杭を打ち踏板3枚を並べてロープも張っています。観察も安全にできるでしょう。散歩に来た方は新しい木道を散策しています。（小笠原 智）



田植え前の説明を真剣に聞いています



昨年の経験で田んぼに慣れているので田植えもスムーズ

春の生きもの観察会

5月19日(土) 9:30～11:00 曇り 気温 22℃
朝方までは小雨がばらつき、実施が心配されましたが予定の時間頃には、すっかり雲間に陽ざしが見え始めてムシムシしてきました。

参加者は会員家族も含めて3家族で父兄3名、児童4名の計7名でした。当日は、篠崎会長に代わり松清さんに講師を依頼しました。約1時間あまり児童たちは捕獲網とバケツを持ちA、Bゾーンのザリガニ釣り場、三角池などを巡ってトンボ、チョウ、バッタなどを捕獲しました。

会員の山村さんがアズマヒキガエルの成体を捕獲し、児童たちは興味深く見入っています。

した。

捕獲した生きものを松清さんから詳しく説明です。参加者の中原小の児童は、カダヤシ、メダカの違い、アマガエル、シュレーゲルアオガエルの識別など正確に答えて驚きでした。近くの保育園の園児たちも保母さんに連れられ容器の生きものを見ていました。限られた時間の中、生きものに触ったりして貴重な体験となった事でしょう。

一方、当日は定例活動日で会員はBゾーンのヨシ、ガマ、チガヤの刈り取り作業で大変でした。
(藤平三郎)



ザリガニいるかな



田んぼを回っています



保育園児も何かみつけたかな



捕獲した生きものを見ています



松清さんから説明中



詳しい説明を聞いています

月例活動状況のお知らせ

3月から5月までの会員の月例活動状況をお知らせします。

3月17日(土)

会員16名参加で休耕田の枯草の除去作業、Bゾーンの木道脇の枯草の除去作業、水田の株踏み作業を実施しました、新ホタルゾーン(Aゾーン)に木道が立派にでき、ホタルの観察が今から楽しみです。ザリガニ釣り場の木道が改修されました。



株の踏み作業風景



ホタルゾーンの新しい木道



改修されたザリガニ釣り場の木道

4月21日(土)

会員20名の参加があり、休耕田の枯草の除去作業、Bゾーンのミントの刈り取り作業等実施しました。今回は女性会員が多く参加され、摘み取った野草のてんぷら料理に大いに賑わいました。ホタルの放流もあり、盛況でした。



ガマの刈り取り作業



ホタル幼虫の放流



天ぷら実演

5月19日(土)

会員8名が参加して、高温化Bゾーン中央木道西側の葦や蒲等背高植物の刈り取りを行いました。今年は葦や蒲の成育が非常に旺盛でその刈り取り作業は大変でした。尚当日は児童やその父兄の参加した春の生きもの観察会が行われました。(園田 廣満)

休耕田化の「うるち#4水田」に水田雑草を

今年から休耕田化する「うるち#4(約51坪)」に「コナギ」や「オモダカ」等典型的な水田雑草だけを育成させることを計画をしました。これら水田雑草は無農薬、無化成肥料の有機栽培法を10数年続けてきた結果復元した雑草であり、非常に貴重な存在です。尚2014年にそのまま休耕田にしたうるち#5水田では水田雑草は完全に消えてしまいました。初めての試みですのでどうなるか分かりません。

(影山賢三)



コナギ



オモダカ

野草を食べる会

4月21日の活動日は、通常の作業のほか、二つのイベントがありました。

一つは蛍の幼虫の放流。順調に成長して、今夏も美しく輝いてくれることを願うばかりです。

もう一つは野草を食べる会。幼虫の放流後、いよいよ野草の採取開始です。集めるのは、ギシギシ、オオバコ、ヨモギ、カントウヨメナ、カラスノエンドウ、セリ、ユキノシタなど。30分程採集した後、天ぷらの準備にかかりました。初めての試みで、下処理、衣のつけ方、カセットコンロでの温度調整等々、手探り状

態でした。時折、強風で風除けの板が煽られたりしましたが、慣れるにつれて手際も良くなり、仕上がりは上々（自己満足?）でした。持ち寄りのウド、新茶、柿若葉なども加わり、会員の胃袋を満たす天ぷらが出来上がりました。

カラッと揚がった野草は風味良く、筍ご飯や副菜と共に春の味を堪能させてくれました。この日の参加者は21名（内女性9名）で過去最多とのこと。楽しく美味しい一日でした。

（久米孝子）



夏季行事予定

- 6月 ● 上～中旬 田の草取り、加里肥料の追肥
- 中旬 春の生態調査
- 16日（土）6月定例活動日
- 下旬～7月上旬 ヘイケボタルの観察会
- 7月 ● 上～中旬 穂肥散布
- 21日（土）7月定例活動日
- 下旬 雀除けネット張り
- 8月 ● 18日（土）8月月例活動日
- 下旬 ハザ作り、稲刈準備

注）詳細の日時と定例活動の具体的な作業内容等については事前に担当幹事からメールリングにてお知らせします。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか？

交通：柏駅東口より東武バス（5番乗り場）「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で「名戸ヶ谷病院前」下車
面積：約4,400㎡ 湿性生物：57種 生きもの：161種（内、千葉県指定保護生物26種）

（2013年、年間を通じて観察した生きものの種類）